

資料編

- ◆第7回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ pp.58-63
NPO 法人サロン 2002 が toto 助成を受けて長野県千曲市で開催する大会。
報告書より一部抜粋。
- ◆サロン 2002 月例会／月例サロン一覧 (1997 ～ 2022) pp.64-70
サロン 2002 の中核事業である月例会・月例サロンの一覧表。
各回の内容は、ホームページのアーカイブに掲載されているのでご参照
いただきたい。
- ◆サロン 2002 公開シンポジウム一覧 (2001 ～ 2022) pp.71-72
月例サロンの拡大版として開催される公開シンポジウムの一覧表。
報告書は、ホームページの「アーカイブ」に掲載されているのでご参照
いただきたい。
2017 年度以降については「主催事業 ⇒ 報告書『游 ASOBI』」にも掲
載されている。
- ◆サロン 2002 ファミリーの約束 pp.73-74
サロン 2002 ファミリーの位置づけ、入退会、メリットなどが記されたもの。
入会ご希望の方は、NPO サロン 2002 ホームページへ
<https://www.salon2002.net>

第7回

U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

主催者メッセージ

すばらしかった決勝戦ー第7回大会を終えて

すばらしいゲームでした。今年度のU-18フットサルを締めくくりにふさわしい国内最高水準の、世界につながるゲームでした。

優勝したフウガドールすみだと準優勝のペスカドーラ町田とともにFリーグの下部組織です。JFA全日本U-18選手権の東京都大会準決勝ではすみだが、関東大会決勝では町田が勝ち、12月の東京都リーグでは引き分け。今期の対戦成績は五分のところでの東京同士の決勝戦でした。互いを知り尽くした者同士のゲームは見どころ満載。YouTube動画解説の多摩大学・福角監督も喜んでおられました。年末のスペイン遠征でさらに力をつけた夏のJFA王者にとっては悔しいゲームですが、高いレベルで競い合った両チームの表情は晴れやかでした。「これから先が本当の勝負だ」と自覚しているかのようでした。

全国各地で個性的なチームや選手が育っています。様々なルートでU-18フットサルにたどり着いた彼らは、コロナ禍の3年間を経て、それぞれの道を歩み始めます。大学やFリーグ、海外へ出て競技生活を続ける者、趣味として続ける者、あるいはフットサルをささえる側へ進む者など多様です。U-18年代は次の飛躍の準備期間。とても大事な通過点です。この時期に

フットサルの醍醐味を味わい、多くの仲間と交流を深め、夢や希望を持って次の世界に羽ばたいてもらいたいと思います。そしてこの大会が、U-18年代の大切な思い出の一つとして残ってくれることを願います。

11月13日に千曲市総合観光会館で「温泉街をスポーツで盛り上げよう！ーU-18FLCCキックオフシンポジウム@千曲」を開き、「千曲市とともに」歩んでいくことを開幕挨拶で述べました。開催にあたり小川修一市長からメッセージをいただき、千曲市での開催にご尽力くださった岡田昭雄前市長は決勝戦を見に来てくださいました。上山田温泉の方々、もちろん長野県フットサル連盟の方々など、地元の全面的なご理解とご協力を得て、この大会が無事開催されたことに感謝します。

この大会を創設期からささえてくださった長野県サッカー協会フットサル委員長の村山吉郎さんが、昨年9月に急逝されました。故人のご遺志を受け継ぎながら、これからも千曲市とともに、この大会を盛り上げていく所存です。

コロナの先を見据えながら、「リーグ戦のある“日常”を」、皆で作りに上げていきましょう。

特定非営利活動法人サロン2002 理事長 中塚 義実



大会要項（一部抜粋）

- 名称** 第7回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ
- 主催** 特定非営利活動法人サロン2002
- 主管** 長野県フットサル連盟
- 後援** 長野県、長野県教育委員会、千曲市、一般社団法人信州千曲観光局、一般社団法人長野県サッカー協会、千曲市サッカー協会、戸倉上山田温泉旅館組合連合会
- 協賛** 多摩大学
- 会場** ことぶきアリーナ千曲（長野県）
- 日程** 2023年1月7日（土）、8日（日）
- 参加資格**
 - 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「日本サッカー協会」とする。）に加盟登録した単独のチームであること（準加盟チームを含む）。
 - 前項のチームに所属する2003年4月2日以降に生まれた選手で男女の性別は問わない。但し、高等学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない
 - 2022年度の選出元のU-18フットサルリーグまたはその代替となる大会に登録・出場している選手であること。
- 参加チーム**

参加チームは、次の各号により選出された16チームとする。

 - 地域または都道府県のフットサル連盟が主催、主管または後援して開催される2022年度のU-18フットサルリーグの優勝チーム。ただし本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、優勝チーム以外のチームを、単独チーム、選抜チームを問わず、リーグにて選出することを認める。
 - 出場チームが16チームに満たない場合は、当該年度のリーグ参加チーム数の多いリーグから順にチームを選出し、16チームでの開催とする。

（注）ただし、やむを得ない理由により16チーム未満での開催となる可能性がある。により16チーム未満での開催となる可能性がある。
- 大会形式**

16チームによるノックアウト方式で行う。1回戦・準々決勝敗者による交流戦を行う。
- 競技規則**

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。
※日サ協発第220135号については適用なしとする。
- 競技会規定**

以下の項目については、本大会で規定する。

 - ピッチ 35～40m×16～20m
 - ボール 試合球：フットサル4号ボール
 - 競技者の数 ベンチに着席できる人数は、試合開始前に提出のメンバー提出用紙に記載されている選手14名、役員4名を上限とする。
 - 競技者の用具
 - 試合時間 30分間（15分の2ピリオド）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間（第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで）とする。

- 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）
 - 交流戦は引き分けとする。
 - PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
 - 決勝：10分間（5分の2ピリオド）の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- 懲罰**
 - 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については当大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
 - 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
 - その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。
- 参加申込**
 - 1チームあたり26名（役員6名、選手20名）を上限とし、選手は選出元のリーグに登録していること。
 - 申込み締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。
- 電子選手証**

各チームの登録選手は、日本サッカー協会発行の電子選手証の写し（写真が登録されたもの：フットサル登録選手）、または選手証（写真が貼付されたもの：サッカー登録選手）を、代表者会議および試合会場に持参すること。電子選手証または選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。
- その他**
 - 代表者会議は2022年12月28日（水）19:00よりオンラインにて行う。
 - 試合開始の60分前、マッチナンバー13、14は40分前にマッチコーディネーションミーティングを行い、ユニフォームを決定する。
 - 参加チームと選手は日本サッカー協会の基本規程および付属する諸規程を順守しなければならない。
 - 大会規定に違反し、その他不正行為等があった場合は、そのチームの出場を停止する。
 - 試合が一方のチームの真に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
 - 本実施要項に記載のない事項については、主催者にて決定する。
 - 選手、役員以外に20名の客席への入場を認める。ただし体育館内滞在は試合時間帯のみとし、終了次第、館外に退出すること。
 - 全試合の映像をYouTubeで配信する。昨年までは関係者限定の配信としたが、本年度は、映像を公開し、継続的に閲覧可能とする。

U-18フットサルのあゆみ

●JFA 全日本U-18フットサル選手権大会

開催年	優勝チーム	会場
2014年	聖和学園FC（宮城）	大田区総合体育館、墨田区総合体育館
2015年	岡山県作陽高校（岡山）	ゼビオアリーナ仙台、仙台市体育館
2016年	帝京長岡高等学校（新潟）	ゼビオアリーナ仙台、仙台市体育館
2017年	矢板中央高等学校（栃木）	ゼビオアリーナ仙台、カメイアリーナ仙台（仙台市体育館）
2018年	帝京長岡高等学校（新潟）	ゼビオアリーナ仙台、カメイアリーナ仙台（仙台市体育館）
2019年	バスカドール町田U-18	浜松アリーナ
2020年	新型コロナウイルス感染の影響で中止。	
2021年	京都共栄学園高校	京都市体育館
2022年	バスカドール町田U-18、遊学館高校	サオリーナ（三重県津市）

●グリーンアリーナ神戸カップフットサルフェスティバル

夏休み期間に特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブを主催として開催されるフェスティバル。

開催年	優勝チーム	準優勝チーム
2012年	SAKUYO Coracao de Verde	神戸国際大学附属高校
2013年	名古屋オーシャンズU-18	SAKUYO
2014年	岡山県作陽高校	エンフレンテ熊本
2015年	SAKUYO	名古屋オーシャンズU-18
2016年	フウガドールすみだファルコンズ	サントス サッカー ショップ
2017年	OKAYAMA SAKUYO	フウガドールすみだファルコンズ
2018年	SBFC ロンドリーナU-18	ASV PESCADOLA 町田U-18
2019年	北海道U-18 男子	シュライカー大阪U-18
2020年	立命館宇治高校 神戸国際大学附属高校	シュライカー大阪U-18 gatt 2008
2021年	名古屋オーシャンズU-18	シュライカー大阪U-18
2022年	シュライカー大阪U-18	メッセ天下茶屋U-18

●GAVIC CUP ユースフットサル選抜トーナメント

2012年に「U-18フットサルトーナメント」として創設。2015年からは名称を変更し、全国9地域から選抜された12チームで大会が開催されている。

開催年	優勝チーム	会場
2012年	名古屋オーシャンズU-18（愛知）	オーシャンアリーナ
2013年	瀬戸内高校（広島）	オーシャンアリーナ
2014年	幕張総合高校（千葉）	駒沢体育館
2015年	愛知県選抜U-18	墨田区総合体育館
2016年	U-18 新潟県選抜	墨田区総合体育館
2017年	U-18 新潟県選抜	墨田区総合体育館
2018年	U-18 神奈川県選抜	和歌山ビッグホエール

●フットサルフェスタ（旧ホンダカップ）

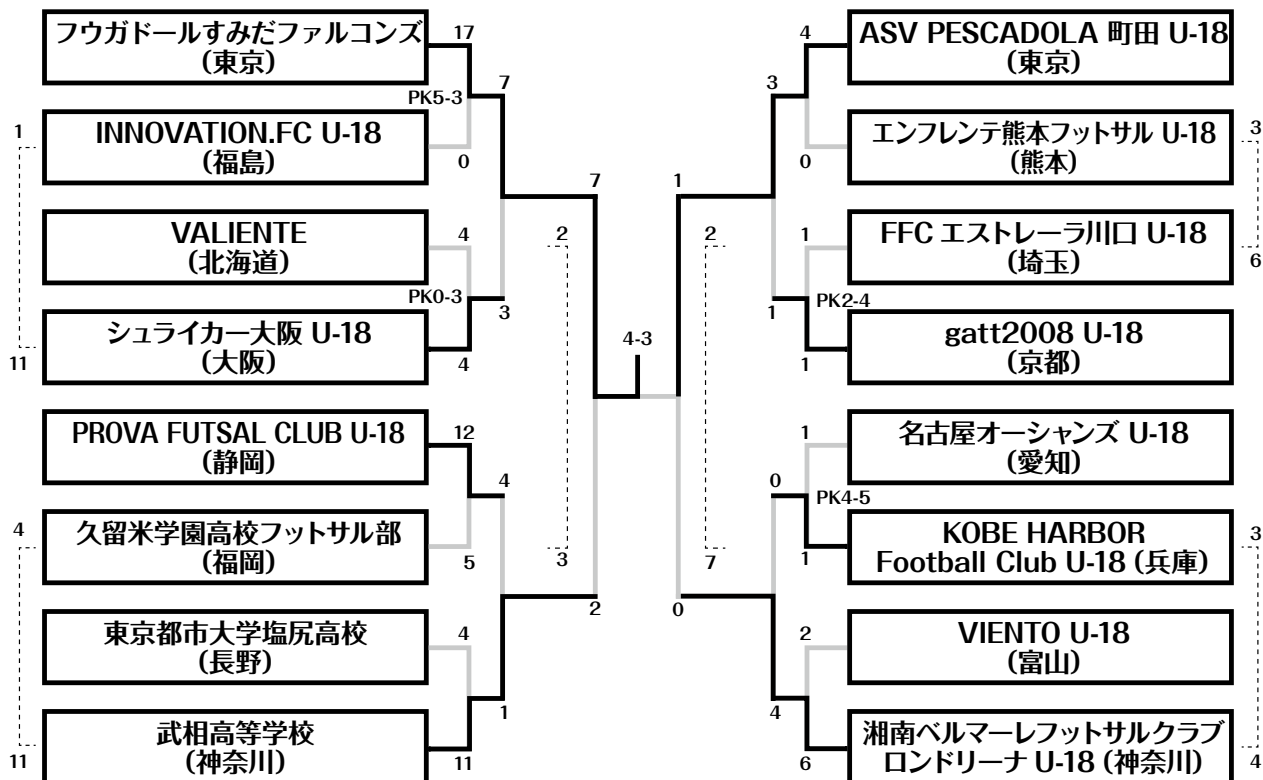
1997年から開催されているフェスティバル大会に2010年からU-18カテゴリーを設定。関東・東海・関西で予選大会が開催されている。

開催年	優勝チーム	準優勝チーム
2010年	名古屋オーシャンズU-18	さくようフットサル部
2011年	府中アスレティックFCユース	作陽 Oito Soldados
2012年	SAKUYO Nao admitem	武相高校
2013年	クラーク記念国際高校	東京成徳大学高校フットサル同好会
2014年	クラーク記念国際高校	湘南工科大学附属高校
2015年	SEIRITZ A	SAKUYO
2016年	フウガドールすみだファルコンズ	サントス サッカー ショップ
2017年	クラーク記念国際高等学校	フウガドールすみだファルコンズ
2018年	サントス サッカー ショップ	SBFC ロンドリーナU-18
2019年	クラッキス	レボナ滋賀U-18
2020年	新型コロナウイルス感染の影響で中止。	
2021年	名古屋オーシャンズU-18	テウソ神戸U-18
2022年	メッセ天下茶屋U-18	Voce e amatorU-18

大会結果

第7回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

2023年1月8日(土)、9日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲



フウガドールすみだファルコンズ (東京)

得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	大多和 一虎	PROVA FUTSAL CLUB U-18	7
2	石井 想一郎	フウガドールすみだファルコンズ	5
2	祖父江 隆ノ介	ASV PESCADOLA 町田 U-18	5
4	深澤 珂斐	PROVA FUTSAL CLUB U-18	4
4	長木 シンジ	湘南ベルマーレフットサルクラブロンドリーナ U-18	4
4	松田 隆幹	武相高等学校	4
4	帆足 江	フウガドールすみだファルコンズ	4
4	秋山 大晟	フウガドールすみだファルコンズ	4
4	春日 陵河	フウガドールすみだファルコンズ	4

賀川浩賞 (得点王)



大多和一虎 選手

賀川浩

1924年神戸出身 神戸一中などでプレーした後、サンケイスポーツ編集局長などを経て、現役最年長のスポーツライター、サロン2002正会員。2010年に日本サッカー殿堂入り、2015年にはFIFA会長賞を受賞した。

第1回大会の結果

エコパアリーナ (メインアリーナ) 2017年1月6日(土)~7日(日)

1次ラウンド

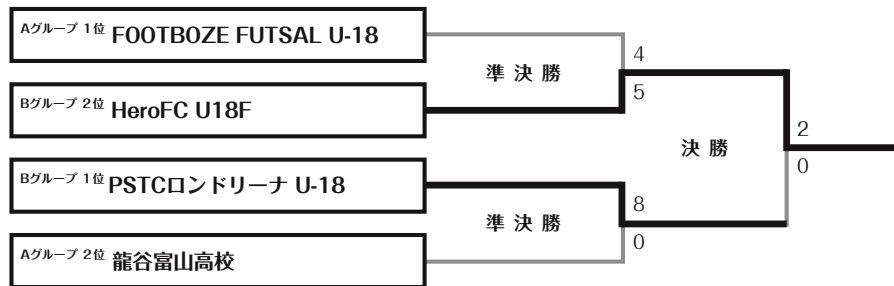
Aグループ		A1	A2	A3	A4
A1	FOOTBOZE FUTSAL U-18 (東京都)		8 〇 0	10 〇 0	3 〇 2
A2	龍谷富山高校 (富山県)	0 ● 8		8 〇 3	6 〇 4
A3	宝塚フットサルクラブ (兵庫県)	0 ● 10	3 ● 8		4 △ 4
A4	エンフレンテ熊本 (熊本県)	2 ● 3	4 ● 6	4 △ 4	

Bグループ		B1	B2	B3	B4
B1	PSTCロンドリーナ U-18 (神奈川県)		4 〇 2	3 〇 2	0 △ 0
B2	日本ウェルネス高校 (長野県)	2 ● 4		1 ● 9	3 ● 8
B3	HeroFC U18F (静岡県)	2 ● 3	9 〇 1		3 〇 1
B4	アリアンサフットサルクラブ (大阪府)	0 △ 0	8 〇 3	1 ● 3	

得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	内田 大登	エンフレンテ熊本U18	10
2	堀 光輝	宝塚フットサルクラブU18	6
2	松田 隼	FOOTBOZE FUTSAL U-18	6
4	山西 静樹	龍谷富山高校	5
5	松左川 晴也	アリアンサ フットサルクラブ	4
5	千野 慧太	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4
5	南雲 颯太	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4
5	原田 守久	PSTCロンドリーナU-18	4
5	原科 勇我	HeroFC U18F	4
5	村上 拓也	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4
5	木村 芳之	HeroFC U18F	4

2次ラウンド 2017年1月7日(土) エコパアリーナ (サブアリーナ)



HeroFC U18F

第2回大会の結果

武田デバオーシャンアリーナ 2018年1月6日(土)~7日(日)

1次ラウンド

Aグループ		A1	A2	A3	A4
A1	名古屋オーシャンズ U-18 (愛知県第2)		5 〇 1	4 〇 1	5 〇 2
A2	アズヴェール藤沢U-18 (神奈川県)	1 ● 5		3 ● 6	4 △ 4
A3	京都橘高校 (京都府)	1 ● 4	6 〇 3		4 〇 3
A4	不二越工業高等学校 (富山県)	2 ● 5	4 △ 4	3 ● 4	

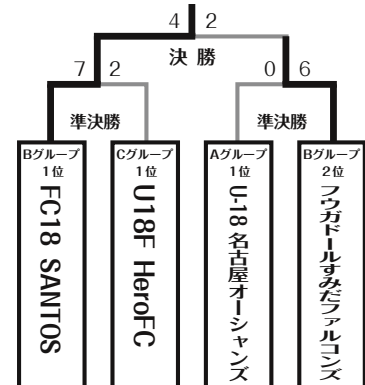
Bグループ		B1	B2	B3	B4
B1	SANTOS FC18 (愛知県第1)		2 △ 2	12 〇 2	9 〇 0
B2	フウガールすみだファルコンズ (東京都第1)	2 △ 2		7 〇 1	12 〇 0
B3	神戸国際大学附属高校フットサル部 (兵庫県)	2 ● 12	1 ● 7		5 〇 3
B4	筑北SC WELLNESS (長野県)	0 ● 9	0 ● 12	3 ● 5	

Cグループ		C1	C2	C3	C4
C1	HeroFC U18F (静岡県)		2 〇 1	2 〇 0	5 〇 2
C2	FOOTBOZE FUTSALU-18 (東京都第2)	1 ● 2		5 〇 1	4 〇 1
C3	アリアンサ フットサルクラブ (大阪府)	0 ● 2	1 ● 5		3 △ 3
C4	エンフレンテ熊本フットサルU-18 (熊本県)	2 ● 5	1 ● 4	3 △ 3	

2次ラウンド



SANTOS FC18



得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	ペレイラチアゴヒデキミヤザキ	SANTOS	11
2	山口 勝輝	SANTOS	10
3	佐々木 拓海	フウガ	7
4	イチヤナギラファエルジェファソン	SANTOS	6
4	新田 朋紀	不二越工業	6
4	島山 勇気	フウガ	6
7	下田 康聖	名古屋オーシャンズ	5
8	横田 海斗	Hero	4
8	荒木 康作	SANTOS	4
8	山口 敬史	京都橘	4
8	川本 樹弥	名古屋オーシャンズ	4

第3回大会の結果

2019年1月5日(土)、1月6日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲

1次ラウンド

Aグループ		日本ウェルネス筑北 SC	宝塚フットサルクラブ U-18	ASV PESCADOLA 町田U-18	サントスFC/santista
A1	日本ウェルネス筑北 SC (長野県)	△	△	●	●
A2	宝塚フットサルクラブ U-18 (兵庫県)	3-3	3-3	2-4	1-10
A3	ASV PESCADOLA 町田 U-18 (東京都)	○	○	●	○
A4	サントスFC/santista (愛知県)	○	○	●	○

Bグループ		明科高等学校サッカー部	シュライカー大阪 U-18	SBFC ロンドリーナ U-18	エンフレンテ熊本 U-18
B1	明科高等学校サッカー部 (開催地:長野県)	●	●	●	●
B2	シュライカー大阪 U-18 (大阪府)	○	○	●	○
B3	SBFC ロンドリーナ U-18 (神奈川県)	○	○	●	●
B4	エンフレンテ熊本 U-18 (熊本県)	○	○	○	○

Cグループ		不二越工業高等学校	京都橋高等学校サッカー部	ディヴェルティード 旭川エルマーノス	CRAQUES
C1	不二越工業高等学校 (富山県)	○	●	●	△
C2	京都橋高等学校サッカー部 (京都府)	○	○	○	○
C3	ディヴェルティード旭川エルマーノス (北海道)	○	●	○	○
C4	CRAQUES (静岡県)	△	●	○	○

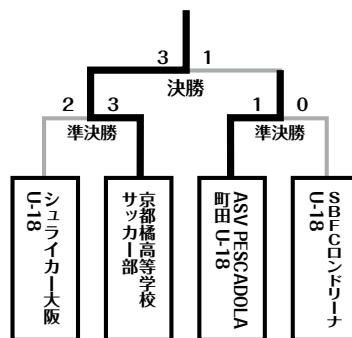
得点ランキング

順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点
1	数内 涼馬	SBFC ロンドリーナ U-18	12	8	川戸 渉平	京都橋高等学校サッカー部	4	13	温 立丞	SBFC ロンドリーナ U-18	3
2	山口 勝輝	サントスFC /santista	7	8	原田 蓮人	SBFC ロンドリーナ U-18	4	13	渡辺 旺介	SBFC ロンドリーナ U-18	3
2	金沢 一矢	京都橋高等学校サッカー部	7	8	千葉 一心	Q.R.A.Q.U.E.S	4	13	甲林 陸	シュライカー大阪 U-18	3
4	井口 凜太郎	シュライカー大阪 U-18	6	8	板橋 琉聖	ASV PESCADOLA 町田 U-18	4	13	岩淵 叶夢	シュライカー大阪 U-18	3
5	垣谷 将太郎	京都橋高等学校サッカー部	5	8	甲斐 稜人	ASV PESCADOLA 町田 U-18	4	13	藤本 毅	エンフレンテ熊本	3
5	林 倅二郎	京都橋高等学校サッカー部	5	13	ペレイラチアゴヒデキミヤザキ	サントスFC /santista	3	13	石川 駿	明科高等学校サッカー部	3
5	稲本 結斗	サントスFC /santista	5								

2次ラウンド

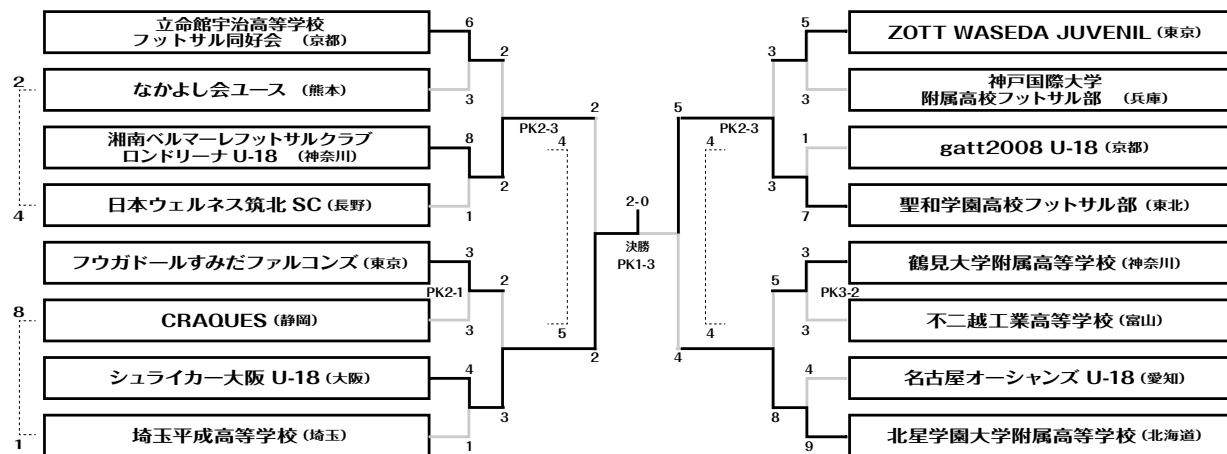


京都橋高等学校サッカー部



第4回大会の結果

2020年1月4日(土)、1月5日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲



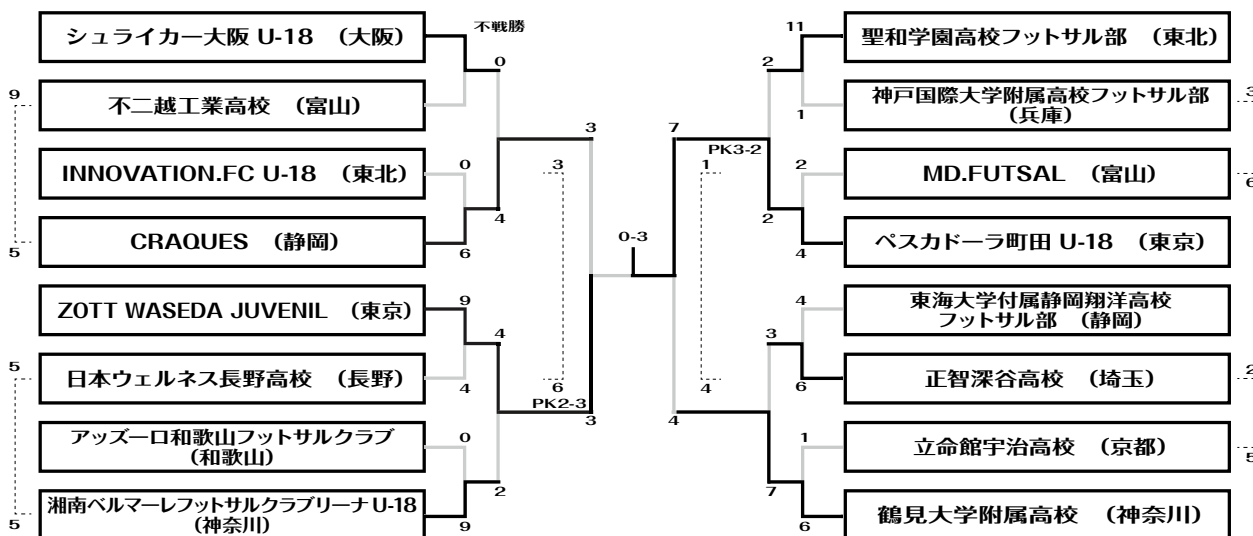
順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点
1	畦地 智志	gatt 2008 U18	6	4	神田 亜典	ZOTT WASEDA JUVENIL	4
2	桐山 侑大	立命館宇治高校フットサル同好会	5	4	宮下 豪也	日本ウェルネス筑北 SC	4
2	田代 海	聖和学園高等学校フットサル部	5	13	伊藤 巧真	北星学園大学附属高等学校	3
4	熊谷 音乙	北星学園大学附属高等学校	4	13	松友 亮輝	神戸国際大学附属高校	3
4	嘉数 希望	シュライカー大阪 U-18	4	13	千葉 黎	CRAQUES U-18	3
4	武内 遼生	北星学園大学附属高等学校	4	13	松井 茂樹	立命館宇治高校フットサル同好会	3
4	高木 隼斗	フウガドルすみだファルコンズ	4	13	井上 統世	聖和学園高等学校フットサル部	3
4	大澤 寛治	ZOTT WASEDA JUVENIL	4	13	大石 颯馬	CRAQUES U-18	3
4	杉村 和哉	鶴見大学附属高等学校	4	13	高橋竜ノ介	鶴見大学附属高等学校	3
4	数内 涼也	湘南ベルマーレFC ロンドリーナ U-18	4				



シュライカー大阪 U-18

第5回大会の結果

2021年1月9日(土)、1月10日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲



得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	渡部 朝登	鶴見大学附属高校	6
2	亀田 航正	正智深谷高校	4
2	成田 美光	ベスカドーラ町田 U-18	4
4	山田 葵琉	CRAQUES U-18	3
4	織田 遥希	CRAQUES U-18	3
4	若林 勇太	聖和学園高校フットサル部	3
4	高橋 大樹	湘南ベルマーレFC ロンドリーナ U-18	3

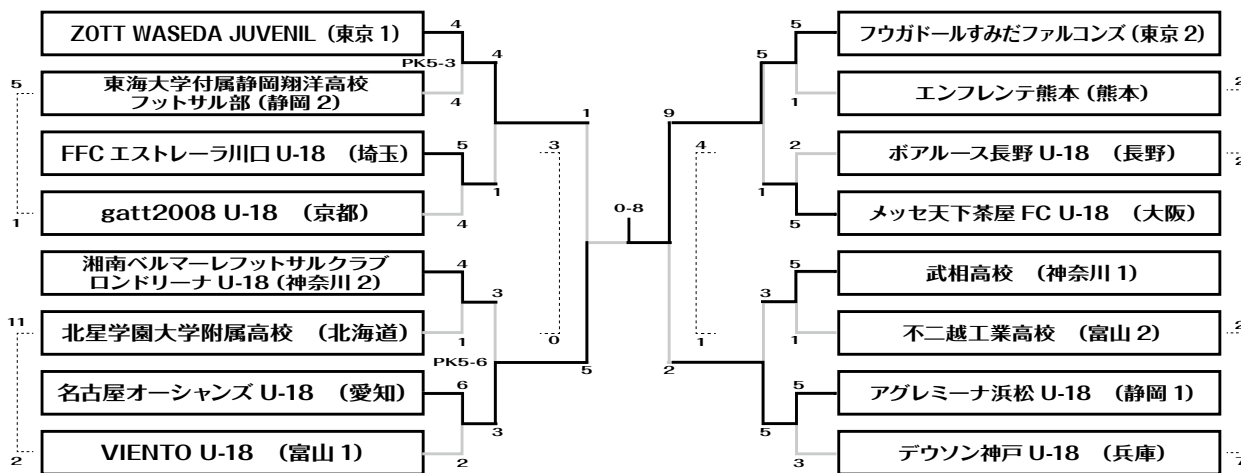
順位	選手名	所属	得点
4	嶋原 直希	ZOTT WASEDA JUVENIL	3
4	草野 大空	聖和学園高校フットサル部	3
4	松野 洸佑	ベスカドーラ町田 U-18	3
4	本田 遥大	湘南ベルマーレFC ロンドリーナ U-18	3
4	二瓶 京介	ZOTT WASEDA JUVENIL	3
4	大澤 寛治	ZOTT WASEDA JUVENIL	3



ベスカドーラ町田 U-18 (東京)

第6回大会の結果

2022年1月8日(土)、9日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲



得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	伊藤 諄哉	フウガドールすみだファルコンズ	9
2	高柳 治希	アグレミーナ浜松 U18	6
3	中田 奏生	ZOTT WASEDA JUVENIL	3
3	岡本 太一	名古屋オーシャンズ U-18	3
3	関口 啓太	武相高等学校	3

順位	選手名	所属	得点
3	大野 頼基	メッセ天下茶屋 FC U-18	3
3	原 佑太郎	デウソン神戸 U18	3
3	帆足 江	フウガドールすみだファルコンズ	3
3	伊集 龍二	名古屋オーシャンズ U-18	3



フウガドールすみだファルコンズ (東京2)

大会を終えて

コロナ禍のなかでの3回目の開催となりました。大会の準備から報告書製作まで、チーム、関係者の皆さまの協力をいただき、無事に開催できたことに御礼申し上げます。今回から試合動画が公開配信となり、大会の価値を高めることができました。また、11月に行われたシンポジウムでは、

千曲市での開催の意義を再確認することができました。大会前にお亡くなりになった大会の立役者、村山吉郎の遺志を引き継いで、これからもしっかりと大会をバージョンアップしていきます。

大会事務局 特定非営利活動法人サロン2002 副理事長 本多克己

サロン2002月例会/月例サロン一覧(1997~2022)

2023.2.9

回数	年	期日	会場	テーマ(報告・話題提供者)
(1997年度)				
第1回	1997	4.18.	お茶大	1.日本サッカーにおけるナショナルアイデンティティの確立に関する研究(高橋義雄) 2.韓国社会と2002年ワールドカップ(韓国研究者の研究発表紹介-中塚義実) 3.スポンサーの立場からみた巨大スポーツイベント(榎竜一)
第2回		5.16.	お茶大	サッカーくじについて(高橋義雄/三堀潔貴)
第3回		6.20.	カリンカ	台風のため中止 → 来てしまった人はそのままカリンカへ
第4回		7.18.	お茶大	スポーツイベント雑感-スポーツイベントについて考えたこと・調べたこと(仲澤眞)
第5回		8.17.~18.	Jヴィレッジ	1.持ち株会社解禁とプロサッカークラブの経営(井上俊也) 2.国際スポーツイベントへの政府の関与(高橋義雄) 3.スポーツカウンセラーの教育・研修に関するJリーグアンケート調査(坂中尚哉) 4.2002年ワールドカップの練習会場について(中塚義実/高橋義雄)
第6回		9.18.	筑波大附高	2002年ワールドカップの練習会場(キャンプ地)について(宮村剛史)
第7回		10.17.	筑波大附高	サッカーを取り巻く職業について-プロ選手のセカンドキャリアを考える(大場淑子)
第8回		11.21.	筑波大附高	ユース(以下の年代のサッカー)を考える(中塚義実)
第9回		12.19	筑波大附高	スポンサーからみたFIFAワールドカップ(花田一成)
第10回	1998	1.29.	筑波大附高	1.タレント発掘の観点からみたサッカー環境とは(中塚義実) 2.プロサッカー選手に対するキャリアカウンセリング(木幡日出男)
第11回		2.20.	筑波大附高	1.審判活動における心理的影響に関する研究(坂中尚哉) 2.横浜プロジェクト報告及び検討(木下昭英)
第12回		3.20.	筑波大附高	1.Jリーグ球団をめぐる組織間関係の形成過程に関する研究(戸苅次郎) 2.高知県サッカーの動向について(中塚頼彦)
(1998年度)				
第13回		4.17.	筑波大附高	1.わが国におけるサッカーの指導者養成制度について(飯田義明) 2.インターナショナルフットボールフェスタ(I.F.F.)について(木下昭英)
第14回		5.14.	筑波大附高	1.プロサッカー選手の職務満足に関する研究(江口潤) 2.著書紹介『幻のサッカー王国-スタジアムからみた解体国家ユーゴスラビア』(宇都宮徹吉) 3.フランス大会へ向けての企画・情報など
第15回		6.16.	筑波大附高	1.著書紹介『サッカーと対峙する男-八重樫茂男』(加藤栄二) 2.インターナショナルフットボールフェスタ(I.F.F.)進行状況報告(木下昭英)
第16回		7.23.	筑波大附高	1.FIFAワールドカップフランス大会報告(宇都宮徹吉他) 2.I.F.F.進行状況報告(木下昭英) 3.サロン2002夏合宿企画案の検討
第17回		8.1.~2.	新横浜プリンスホテル	1.インターナショナルフットボールフェスタ(I.F.F.)-セミナー部門・パーティに参加(8月1~2日) 2.Jリーグ観戦-横浜フリューゲルス対鹿島アントラーズ(8月1日) 3.新横浜プリンスホテル内での飲み会(8月1日深夜)
第18回		9.17.	筑波大附高	1.フランスサッカーの現状と課題(井上俊也) 2.インターナショナルフットボールフェスタ(I.F.F.)報告(木下昭英)
第19回		10.20.	筑波大附高	1.「サッカーTVアイ」の試み(葉梨忠男) 2.体育における「みるスポーツ」教育の可能性と役割-女子サッカーの授業実践より(中塚義実)
第20回		11.6.	筑波大附高	“横浜FM問題”に関する緊急ミーティング
第21回		11.20.	筑波大附高	1.2002年をよりディープに楽しむために-ワールドカップキャンプ地に関するレポート(野上宏志) 2.キャンプ候補地としての高知県の場合(宮村剛史) 3.平成14年への提言(宇都宮徹吉)
第22回		12.12.~13.	鹿島アントラーズクラブハウス	1.鹿島アントラーズのこれまでとこれから-ある関係者の独り言(長岡茂) 2.平成14年への提言(宇都宮徹吉) 3.鹿島市フットサル大会へ出場 4.天皇杯予選観戦:鹿島アントラーズ対筑波大学
第23回	1999	1.29.	筑波大附高	1.NPO法について(松下徹) 2.サロン2002のこれまでとこれから(中塚義実)
第24回		2.18.	筑波大附高	W杯権利ビジネスの問題点と今後のスポンサーシップのあり方(花田一成)
第25回		3.17.	筑波大附高	サッカーくじについて(その1)(両角晶仁)
(1999年度)				
第26回		4.15.	筑波大附高	サッカーくじについて(その2)(両角晶仁)
第27回		5.18.	筑波大附高	草サッカーはいま-未登録層のサッカーの現状と課題(浜村真也)
第28回		6.17.	筑波大附高	母国巡礼-スタジアムから見た英国流フットボール(宇都宮徹吉)

第29回		7.13.	筑波大附高	ユース年代のサッカーの方向性をさぐる(中塚義実)
第30回		7.17.~18.	新潟市	サッカー振興を市民の手で(小島裕範/中塚義実)
第31回		8.27.	筑波大附高	マイノリティのスポーツ環境を考えるー移植患者のスポーツ(安藤裕一)
第32回		9.22.	筑波大附高	異文化を知ろう!パートⅡーハンドボールと企業スポーツ(香西武彦)
番外編		9.28.~29.	JFA他	スコットランドのスポーツ社会学者(H.F.Moorhouse)を囲む情報交歓会 注)28日は、日本体育・学校健康センター主催、サロン2002企画 29日は、主催・企画はサロン2002、会場は日本サッカー協会で行われた
第33回		10.26.	筑波大附高	スタジアムから見た分断国家ー知られざるアイリッシュ・フットボール(宇都宮徹吉)
第34回		11.10.	筑波大附高	旅行会社が育てるグラスルーツ・スポーツー毎日コムネットのサッカービジネス(脇田英人)
第35回		12.20.~21.	掛川市	クラブ運営と公益性(鶴木恵介/伊藤薫)
第36回		12.20.	筑波大附高	「アメリカのサッカー」から学んだもの(仲澤 眞)
第37回	2000	1.25.	筑波大附高	女子ワールドカップUSAのボランティアを終えて(小林美由紀)
第38回		2.24.	筑波大附高	Jリーグ選手協会(選手側)がらみる、日本サッカー界の現状と課題(信藤健仁、大場淑子)
第39回		3.27.	筑波大附高	サロン2002(Ver.2000~2001)について(中塚義実)
(2000年度)				
第40回		4.25.	筑波大附高	サッカーくじについて(その3)(両角晶仁)
第41回		5.18.	筑波大附高	21世紀の生涯スポーツーフットボールを楽しむために(徳田仁)
第42回		6.16.	筑波大附高	何をもって「スポーツイベントの成功」とするのか(高橋義雄)
第43回		7.23.~24.	筑波大学	浦和レッズ・サポーターを追って(清水論)
第44回		8.10.	筑波大附高	21世紀のネーションズカップとはーEURO2000から見えるもの(宇都宮徹吉)
第45回		8.26.~27.	新潟市	サッカー振興を市民の手でPart2(小島裕範/中塚義実)
第46回		9.19.	筑波大附高	見易いサッカー番組とはーサッカーTV復活!(葉梨忠男/桐谷博)
第47回		10.27.	筑波大附高	フットサルプロジェクト1の展望と課題ーフットサルの現状と連盟の意義(フットサルプロジェクト1)
第48回		11.22.	筑波大附高	“ディナモ”と社会主義政権下のフットボール(宇都宮徹吉)
第49回		12.21.	筑波大附高	フットサル連盟は必要かー21世紀のスポーツと、競技団体のあり方(フットサルプロジェクト1)
第50回	2001	1.25.	筑波大附高	サロン2002のホームページをどう活かすか(本多克己・小緑典子・奥野剛史・田尻美寧貴他)
第51回		2.17.	駒沢陸上競技場	2001年のフットサル連盟(梶野政志)
第52回		3.16.	筑波大附高	サッカーTVを斬るーサッカーファンの開拓にTVはどう貢献できるか(葉梨忠男)
(2001年度)				
第53回		4.27.	筑波大附高	ユースサッカーは変わるか?ーDUOリーグ5年間の歩みと東京都ユースサッカーリーグ創設への展望(中塚義実)
第54回		5.17.	筑波大附高	ワールドカップ・プロジェクト1ーコンフェデ杯から何かを残そう(竹原典子)
第55回		6.19.	筑波大附高	コンフェデレーションズカップを振り返ってー運営の立場から(長岡茂)
第56回		7.22.	横浜国際総合競技場	コンフェデレーションズカップ総括シンポジウム(長岡茂・竹原典子・小島裕範)
第57回		8.25.~26.	Jステップ	スポーツ好きな子どもたちを育てよう 事例1.DUOリーグー学校運動部とクラブユースによるリーグ戦(中塚義実) 事例2.地域クラブU-18ー清水市の例(宮城島清也) 事例3.Jリーグユースチームの育成(山下則之)
第58回		9.27.	筑波大附高	2002年に何ができるか(小出正三・浅野智詞・片岡麻衣子)
第59回		10.26.	筑波大附高	東京都ユースリーグ創設へ向けての動きを追うープレリーグから何が見えるか(東京都ユースリーグ準備委員会:仮称)
第60回		11.28.	筑波大附高	ユースリーグの可能性と課題ー2010年を視野に入れて(東京都ユースリーグ準備委員会:仮称)
第61回		12.15.	神戸市	2010年のサッカー環境ーDUOリーグの試み(中塚義実)
第62回	2002	1.29.	筑波大附高	2002年(以降)のサロン2002を考える
第63回		2.27.	筑波大附高	2002年(以降)のサロン2002を考える(その2)
第64回		3.25.	筑波大附高	ワールドカップの“物語”をいかに集めるかー2002年(以降)のサロン2002を考える③(ワールドカッププロジェクトⅡ)
(2002年度)				
第65回		4.19.	筑波大附高	「SP(サポーターズ・プロジェクト)2002」の提案(宇都宮徹吉)
第66回		5.11.	JISS	国立スポーツ科学センター(JISS)について(浅見俊雄)/2002年度総会
第67回		6.20.	筑波大附高	「それぞれのワールドカップ」中間報告会
第68回		8.3.	東京体育館	ワールドカップ総括シンポジウムⅠー「ささえる物語」を中心に(長岡茂、村林裕、宮城島清也)
第69回		8.10.	神戸ファッション美術館	ワールドカップ総括シンポジウムⅡー「観戦と交流の物語」を中心に(賀川浩、スー木下、橋本潤子、宇都宮徹吉)
第70回		9.24.	筑波大附高	「フットサルプロジェクトⅡ」実施上の問題点(澤井和彦)
第71回		11.1.	筑波大附高	ユース年代にリーグ戦を!ー底辺からトップまで(東京都高体連ユースリーグ検討委員会)
第72回		11.22.	筑波大附高	JFLの歴史と展望ー横浜FCの事例を通して考える(内藤隆)
第73回		12.11.	筑波大附高	日本代表戦チケットについて(浜村真也、平川巨)
第74回	2003	1.23.	筑波大附高	高校体育におけるサッカーの取り上げ方ー体育実技と体育理論の実践報告(中塚義実)
第75回		2.1.~2.	刈谷市	1.刈谷市のサッカー環境ーこれまでとこれから(刈谷市サッカー連盟神谷理事長) 2.豊かなスポーツ環境構築のためにーDUOリーグからU-18東京都リーグまで(中塚義実)
第76回		3.25.	筑波大附高	一地域のスポーツ環境の現状と今後の展望(中村敬)

(2003年度)				
第77回		4.18.	筑波大附高	東京都ユースリーグ創設の経緯と実際(中塚義実)
第78回		5.24.	筑波大附高	GE社の「シックスシグマ」手法を用いたサロン2002の課題の検討(笹原勉)／2003年度総会
第79回		6.26.	筑波大附高	サロン2002の月例会を活性化するには(サロン2002活性化プロジェクト)
第80回		8.2.	東京体育館	2003公開シンポジウム「地域で育てるこれからのスポーツ環境(中塚義実、宇都宮徹吉、山下則之)
第81回		8.26.	筑波大附高	研究者からみたサッカー―「日本フットボール学会」創設をめぐる(安松幹展)
第82回		9.24.	大分県サッカー協会	(大分)いかにクラブを育てるか(中塚義実)
第83回		10.24.	日本サッカー協会	競技団体の登録制度を考える―JFA200万人構想をめぐる(CHQ他)
第84回		12.2.	筑波大附高	フットサル界の現状と課題(本多克己)
第85回		12.18.	筑波大附高	サッカー・スポーツと「科学研究」の架け橋となるには―Jリーグアカデミー、JCY科学研究委員会、日本フットボール学会の今後を探る―(山下則之、中塚義実、大橋二郎)
第86回	2004	1.21.	両国「とくだわら」	ローカルな活動からゆたかなくらしづくりへアートとスポーツ:分野を超えた活動の可能性(中村敬、土谷亨)
第87回		2.26.	筑波大附高	いまいちどサロン2002のあり方を考える
第88回		3.9.	現代美術製作所	歯磨き感覚でスポーツは可能か?(井関信雄、中塚義実)
(2004年度)				
第89回		4.28.	筑波大附高	2004年春のフットサル報告会(中塚義実、本多克己)
第90回		5.22.	味の素スタジアム	スコットランドで学んだこと(高橋義雄)／2004年度総会
第91回		6.29.	NPO文京教育トラスト	英語とサッカーセミナー(麻生征宏、塚本正昭)
第92回		7.24.	伊香保温泉丸本館	ザスバ草津の挑戦(賢持宏昭★、小林俊文)
第93回		8.12.	NARAWA WING	1.ソシオ成岩スポーツクラブの運営について(榊原孝彦) 2.DUOリーグ・新規リーグのマネジメントについて(中塚義実)
第94回		9.22.	筑波大附高	宇都宮徹吉がみたEURO～アジアカップ(宇都宮徹吉)
第95回		10.8.	筑波大附高	サロン2002公開シンポジウム検討会:totoをどう活かすか-地域スポーツ振興のために
第96回		11.27.	立教大学	2004公開シンポジウム「totoを活かそう!-地域スポーツ振興のために」(福西達男、高橋正紀、徳田仁、両角晶仁)
第97回		12.22.	筑波大附高	代表チームからみたサッカー文化の違い(早川直樹★、安松幹展)
第98回	2005	1.13.	筑波大附高	「サッカーTV」活用法を考える(葉梨忠男)
第99回		2.20.	RICE+(曳舟)	地域社会にみる障害児スポーツクラブの意義(中村敬)
第100回		3.31.	フットボール・ラヴァース	サロン2002のあゆみ-月例会100回記念パーティ(宇都宮徹吉、中塚義実)
(2005年度)				
第101回		4.15.	筑波大附高	テヘラン日記・総集編-3.25.イラン戦を振り返って(宇都宮徹吉、徳田仁、鈴木崇正)
第102回		5.28.	日本スポーツ振興センター	2005年度総会
第103回		6.24.	筑波大附高	データからJリーグを分析!-J-STATS Opta(ジェイスタッツオプタ)とは(武田信巖★、山下則之)
第104回		8.6.	愛知県スポーツ会館	広域スポーツセンターを考える(高橋義雄、榊原孝彦)
第105回		8.26.	筑波大附高	公開シンポジウム2005検討会(本多克己他)
第106回		9.20.	筑波大附高	ワールドカップ予選を振り返って(早川直樹★、安松幹展)
第107回		10.13.	筑波大附高	サロン2002公開シンポジウム検討会-クラマーさんありがとう!
第108回		11.12.	味の素スタジアム	2005公開シンポジウム「クラマーさんありがとう!」(D.クラマー、賀川浩、両角晶仁、大橋二郎、中塚義実)
第109回		12.22.	筑波大附高	2006年FIFAワールドカップを語ろう①!-トルコvsスイス戦(欧州プレーオフ)報告会(宇都宮徹吉)
第110回	2006	1.17.	筑波大附高	サッカー新聞のできるまで-「エルゴラツ」からみえること(浅野智嗣)
第111回		2.9.	筑波大附高	新生totoの全て-「ここでしか語れない」秘密の話?(両角晶仁)
第112回		3.10.	筑波大附高	ラヂオで伝えるフットボール(小林達彦★、両角晶仁)
(2006年度)				
第113回		4.28.	筑波大附高	徹底比較 32年ぶりのワールドカップ・ドイツ大会(鈴木崇正、江川純子)
第114回		5.20.	筑波大附高	2006年度総会
第115回		6.21.	ドイツ・フランクフルト市	現地情報交換会-バブリックビューイング体験
第116回		6.23.	ドイツ・フランクフルト市	スポーツクラブ訪問-TGポーンハイム1860
第117回		7.13.	筑波大附高	FIFAワールドカップ・ドイツ大会報告会(中塚義実、岸卓巨、鈴木崇正他)
番外編		8.21.	筑波大附高	FIFAワールドカップ・ドイツ大会のゲーム分析(庄司悟★、中塚義実)
第118回		8.28.	筑波大附高	FIFAワールドカップ・ドイツ大会にむけたコンディショニング(早川直樹★、安松幹展)
第119回		9.28.	筑波大附高	シンガポールで感じたこと-小さな国の大きな試み(中塚義実)
第120回		10.6.	筑波大附高	聴覚障害を持つサッカーファミリーからの言葉-聴覚障害者を取り巻くサッカー環境と彼等を知る(赤沢宏★、植松隼人★、中村敬)
第121回		11.17.	筑波大附高	バヌアツで感じたこと(岸卓巨)
第122回		12.19.	筑波大附高	サロン2002の10年を振り返る①-10年間(10年以上)の環境の変化とサロンの変化(中塚義実)
第123回	2007	1.19.	筑波大附高	百年構想最前線-地域リーグ決勝大会観戦記(宇都宮徹吉)
第124回		2.24.	サッカー居酒屋「いなば」	サロン2002:10周年記念パーティ
第125回		3.24.	日産スタジアム内	2006公開シンポジウム「2006年 ドイツで感じたこと」(池田誠剛、庄司悟、徳田仁)
(2007年度)				
第126回		4.27.	筑波大附高	地方からみたレディースフットサルの現状と今後-トリムカップ・レディースフットサル大会をめぐる(中塚義実)
第127回		5.20.	東京都サッカー協会	2007年度総会



第128回		6.29.	筑波大附高	トヨタカップの始まりとテレビ中継(坂田信久★、牛木素吉郎)
第129回		7.19.	国立競技場	サロン2002にバーチャルなコミュニティは必要か(本多克己)
第130回		8.21.	筑波大附高	待生問題を考える
第131回		9.23.	代々木体育館 →「風芽車」	フリーグ開幕を祝して乾杯!
第132回		10.25.	筑波大附高	公開シンポジウム2007検討会
第133回		11.28.	筑波大附高	辺境地のサッカー報告-極東ロシアサッカー紀行&バヌアツ共和国で感じたこと(第2報)(大久保尚彦、岸卓巨)
第134回		12.15.	青学会館アイビーホール	公開シンポジウム2007:「サッカー観戦を楽しもう!-スタジアム編」(仲澤眞、徳田仁、宮明透)
第135回	2008	1.23.	筑波大附高	高校サッカーと民放テレビ(坂田信久★、牛木素吉郎)
第136回		2.27.	筑波大附高	東京都からみた日本のフットサルのこれまでとこれから(野口良治)
第137回		3.29.	南国市立スポーツセンター	成田十次郎先生にさく-高知・日本・ドイツのサッカーとトリムカップ
(2008年度)				
第138回		4.23.	筑波大附属高校	DUOリーグのトロフィーをアート感覚で(中塚義実、土谷享)
第139回		5.10.	味の素スタジアム	2008年度総会
第140回		6.27.	筑波大附属高校	サロン2002のホームページをリニューアルしよう(本多克己)
第141回		7.26.	岡山国際交流センター	フジアーノ岡山のあゆみと今後
第142回		7.31.	筑波大附属高校	サッカーのいちジャンルとしてみるハンディキャップサッカー(森山徹★、依藤正次※)
第143回		9.25.	筑波大附属高校	2008年のビッグイベント①北京五輪を振り返って(安藤裕一※)
第144回		10.30.	筑波大附属高校	北京、ロンドン、そして東京へ(相原正道)
第145回		11.26.	筑波大附属高校	2008年のビッグイベント②EURO2008を振り返って(庄司悟★、徳田仁※)
第146回		12.20.	サッカー居酒屋「いなば」	お宝映像上映会兼忘年会
第147回	2009	1.18.	金沢21世紀美術館	タッグパートナーとしてのスポーツとアート
第148回		1.31.	日本青年館・会議室	公開シンポジウム2008:地域からみたJリーグ百年構想(宇都宮徹吾、宮明透、守屋実★)
第149回		3.21.	那智勝浦町体育文化会館	中村覚之助と日本サッカーの夜明け(牛木素吉郎、森岡理右★、山本殖生★、中塚義実※)
(2009年度)				
第150回		4.25.	筑波大附属高校	サロンin熊野報告&月例会を考える-月例会150回記念企画(中塚義実)
第151回		5.16.	武蔵野陸上競技場	2009年度総会
第152回		6.12.	KOSUGE1-16スタジオ	タッグパートナーとしてのスポーツとアート2(土谷享)
第153回		7.16.	筑波大附属高校	南アフリカ・コンフェデレーションズカップ報告(田村修一)
第154回		7.28.	川崎競馬場	お出かけサロン:川崎競馬体験ツアー(茅野英一)
第155回		9.17.	筑波大附属高校	祝!2019年W杯招致決定!日本ラグビーの現状-高校ラグビー合同チーム問題から見えるもの(嶋崎雅規)
第156回		10.28.	筑波大附属高校	21世紀の東京オリンピックを考える(嵯峨寿)
第157回		11.24.	筑波大附属高校	公開シンポジウム2009検討会
第158回		12.19.	サッカー居酒屋「いなば」	お宝映像上映会兼忘年会
第159回	2010	1.20.	筑波大附属高校	2018/2022年FIFAワールドカップの招致活動(五香純典)
第160回		2.6.	オリビック記念青少年総合センター	日本サッカーの始祖 熊野の中村覚之助(中村統太郎★、真田久★、加藤弘★、中塚義実※)
第161回		3.6.	青学会館アイビーホール	公開シンポジウム:2019ラグビー・ワールドカップ日本大会を語ろう!(岩淵健輔★、直江光信★、島田佳代子★、中塚義実※)
(2010年度)				
第162回		4.9.	筑波大附属高校	7人制ラグビーの現状と今後(村田互★、高橋義雄※)
第163回		5.8.	味の素スタジアム	2010年度総会
第164回		5.20.	筑波大附属高校	日独間選手育成システムの違いからみる日本サッカー活性化の方法(高田勝敏)
第165回		6.20.	サムライブルーカフェ	南アフリカに行ってきました!-FIFAワールドカップ南アフリカ 研修報告(中塚義実)
第166回		7.21.	筑波大附属高校	それぞれの2010FIFAワールドカップ-南アフリカってどんな国?(岸卓巨ほか)
第167回		8.19.	筑波大附属高校	Jリーグ・アカデミー活動の評価(山下則之)
第168回		9.29.	筑波大附属高校	イタリアから学んだ指導における視点の違い(井田征次郎)
第169回		10.27.	筑波大附属高校	日本のU-12の世界を目指して(高崎康嗣)
第170回		11.24.	筑波大附属高校	「2010年のサッカー環境」はここまで実現したか(中塚義実)
第171回		12.17.	マーシャルアーツ	泣く子も黙る南米旅行-東南アジアが先進国に思えた日(奥山純一)&お宝映像上映会兼忘年会
第172回	2011	1.27.	筑波大学附属高校	戦前のサッカー育成-神戸一中を中心に(賀川浩)
第173回		2.8.	筑波大学附属高校	World Congress of Science and Football in Nagoyaへの招待(安松幹展)
第174回		3.5.	堺市立ナショナルトレセン	公開シンポジウム:育成期のサッカーを語ろう!(上田亮三郎★、松田保、黒田和生、関塚隆★、中塚義実※)
(2011年度)				
第175回		4.20.	筑波大学附属高校	指導者像について考える-5回の海外研修を通して(伊藤慧)
第176回		5.8.	筑波大学附属高校	2011年度総会
第177回		6.9.	筑波大学附属高校	「当たり前」のありがたみを求めて-東日本大震災(宮城県でのボランティア活動)と青年海外協力隊(ケニアでの見通し)を通して考える(岸卓巨)
第178回		7.2.	サッカー居酒屋「いなば」	ラグビー観戦して飲みに行こう!
第179回		8.26.	筑波大学附属高校	女子W杯を振り返って-現地レポートと日独サッカー比較人類学(加納樹里、牛木素吉郎、浅野智嗣)
第180回		9.30.	筑波大学附属高校	国際ビールド・クワレルタン・ユースフォーラム報告-北京で感じ、考えた、「オリンピック教育」の現状と今後(中塚義実)
第181回		10.16.	筑波大学附属高校	サッカーのいちジャンルとしてみるハンディキャップサッカー②電動車椅子サッカー(高橋弘★、依藤正次※)

第182回		11.29.	筑波大学附属高校	ラグビーワールドカップとサッカーワールドカップ(井上俊也)
第183回		12.17.	サッカー居酒屋「いなば」	北朝鮮をめぐる忘年会
第184回	2012	1.25.	筑波大学附属高校	日本のスポーツ、これまでとこれから(清水諭)
第185回		2.22.	筑波大学附属高校	アスリートのメディアサポートの現場から(片上千恵★、仲澤眞※)
第186回		3.4.	味の素スタジアム	公開シンポジウム:『高校サッカー90年史』を語ろう!(北原由、牛木素吉郎、賀川浩、中塚義実)
(2012年度)				
第187回		4.26.	筑波大学附属高校	U-18年代のフットサル-2001東京、2012名古屋、そして未来へ(中塚義実、本多克己)
第188回		5.13.	筑波大学附属高校	2012年度総会
第189回		6.29.	筑波大学附属高校	アジアのサッカーあれこれ(笹原勉)
第190回		7.17.	筑波大学附属高校	EURO2012を振り返って(徳田仁、田村修一、宇都宮徹吉)
第191回		8.27.	筑波大学附属高校	1.1960~80年代の中国スポーツ(牛木素吉郎) 2.スタジアムから見る中国サッカーの現在地(宇都宮徹吉)
第192回		9.26.	筑波大学附属高校	フットサルの育成と国際交流-ドイツ・ジャパン・フットサルフェスティバルを中心に(山下則之)
第193回		10.31.	筑波大学附属高校	強いフランスを目指したサルコジ時代のフランスサッカー(井上俊也)
番外編		11.18.	筑波大学附属高校	「学校運動部には何が出来るか」についてセルジオ越後さんと語ろう!(セルジオ越後、鍋島和夫、中塚義実ほか)
第194回		11.22.	筑波大学附属高校	FIFAフットサル・ワールドカップ2012報告会(徳田仁)
第195回		12.15.	スポーツカフェ「ライ・スター」	お宝映像上映会兼忘年会-1966北朝鮮vsイタリアほか
第196回	2013	1.23.	筑波大学附属高校	ラグビー・トップリーグプレーヤーの生活(浦和俊介)
第197回		2.22.	筑波大学附属高校	欧州チャンピオンズカップの成立(田村修一)
第198回		3.23.	大分県臼杵市民会館	サロンin大分(臼杵):竹腰重丸を語る(浅見俊雄★、牛木素吉郎、吉田稔★、中塚義実)
第199回		3.30.	テパ・オーシャンアリーナ	公開シンポジウム:U-18フットサルを語ろう!(松崎康弘★、大立目佳久★、岩本芳久★、中塚義実)
(2013年度)				
第200回		4.20.	筑波大学附属高校	サロン2002の“これまで”と“これから”を語ろう!-サロンin臼杵&公開シンポジウム名古屋&月例会200回を振り返って(中塚義実)
第201回		5.6.	筑波大学附属高校	2013年度総会
第202回		6.15.	筑波大学附属高校	ラグビースピリット(梶原宏之★)、7人制と15人制(村田互) → 日本vsウェールズ観戦
第203回		7.18.	筑波大学附属高校	コンフェデレーションズカップ2013を振り返って(徳田仁、牛木素吉郎、田村修一)
第204回		8.24.	筑波大学附属高校	サロン2002の法人化をめぐる①(サロン2002法人化プロジェクト:奥山純一、小池正通、笹原勉ほか)
第205回		9.22.	筑波大学附属高校	オリンピック教育の行方 -第9回国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラムで感じたこと(中塚義実)
第206回		10.27.	筑波大学附属高校	サロン2002の法人化をめぐる②(サロン2002法人化プロジェクト:奥山純一、小池正通、笹原勉ほか)
第207回		11.22.	筑波大学附属高校	スポーツを通じた豊かな暮らし-青年海外協力隊、ケニアでの事例より(岸卓巨)
第208回		12.28.	フットボール・サロン4-4-2	お宝映像上映会兼忘年会-ベレとブラジルを中心に
第209回	2014	1.26.	筑波大学附属高校	FCバルセロナ憲章にみるバルサの本当のすごさ(小池正通)
第210回		2.23.	筑波大学附属高校	臨時総会
第211回		3.30.	筑波大学東京キャンパス	公開シンポジウム:スポーツクラブの法人化を語ろう!(賀川浩、黒崎祐一、水上博司、中塚義実)
(2014年度)				
第212回		4.24.	筑波大学附属高校	タッグパートナーとしてのスポーツとアート(第3弾) -古くなったものを楽しく保存継承するという可能性(土谷享、佐藤一朗)
第213回		5.31.	筑波大学附属高校	2014年度総会/NPOサロン2002設立総会
第214回		6.14.	フットボール・サロン4-4-2	NPOサロンキックオフ月例会-理事長が語るFIFAワールドカップ(中塚義実)
第215回		7.21.	フットボール・サロン4-4-2	FIFAワールドカップ・ブラジルを語る①-観戦者・旅行者・研究者の視点から(本多克己、笹原勉、笠野英弘)
第216回		8.30.	フットボール・サロン4-4-2	現役最年長記者 賀川浩さんが語る -2014FIFAワールドカップ・ブラジルとU-18フットサル(賀川浩)
第217回		9.26.	フットボール・サロン4-4-2	テレビに映らなかったワールドカップ(宇都宮徹吉)
第218回		11.1.	筑波大学附属高校	ユース年代における7人制ラグビーの現状(石渡利昭★、川中子修★)
第219回		11.20.	筑波大学附属高校	ドイツに学ぼう-育成システムとブンデスリーガ(高田勝敏、山下則之)
第220回		12.28.	フットボール・サロン4-4-2	お宝映像上映会兼忘年会-EURO1972決勝:西ドイツvsソ連
第221回	2015	1.28.	筑波大学附属高校	小中高の体育の授業でサッカーをどう扱うか(中塚義実)
第222回		3.8.	フットボール・サロン4-4-2	会員交流会-①フットサル交流、②ワークショップ&パーティ
第223回		3.25.	フットボール・サロン4-4-2	FIFA会長賞受賞記念講演会「マイ・フットボール・クロニクル1924-2015」(賀川浩)
(2015年度)				
第224回		4.28.	筑波大学附属高校	NPO法人化初年度のサロン2002共催事業を振り返る -クーベルタン・嘉納ユースフォーラム2015を中心に(中塚義実)
第225回		5.30.	杉並区産業商工会館	旧ユーゴスラビアが日本に残すサッカーの遺産-ボスニア・ヘルツェゴビナから見つめて(森田太郎★)
第226回		6.13.	筑波大学附属高校	ミャンマーとサッカー-いち学生が観た発展途上国のサッカー(春日大樹)/2015年度総会
第227回		7.4.	筑波大学東京キャンパス	公開シンポジウム:スポーツで「ゆたかな暮らし」を(村松邦子、山口拓、小林洋平、岸卓巨)
第228回		8.14.	フットボール・サロン4-4-2	競技力とデータ測定の関係(北田典央)
第229回		9.30.	筑波大学附属高校	スロバキアへ行ってきました! -第10回国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム報告会(中塚義実)
第230回		10.23.	筑波大学附属高校	大学の授業を通じた体育・スポーツ分野における国際協力 -カンボジア王国におけるスポーツ指導・運動会・体育の実践(山平芳美★、岸卓巨※)
第231回		11.27.	フットボール・サロン4-4-2	2019年ラグビーワールドカップの成功のために① -日本代表の活躍を踏まえて、今私たちにできることは(嶋崎雅規)



第232回		12.16.	筑波大学附属高校	2019年ラグビーワールドカップの成功のために② －日本のラグビー界はこれからどうあるべきか(山本巧★、嶋崎雅規※)
第233回	2016	1.26.	筑波大学附属高校	柔道というスポーツが日本で愛されるために －柔道のこれまでの歩みを振り返り、今後の課題を考える(川戸湧也)
第234回		2.1.	フットボール・サロン4-4-2	「このくにのサッカー」を語る(賀川浩)
第235回		3.30.	筑波大学附属高校	FIFAスキャンダルとFIFAの行方(田村修一)
(2016年度)				
第236回		4.21.	筑波大学附属高校	海外サッカー中継の舞台裏(仁藤慶彦★、笹原勉※)
第237回		5.16.	筑波大学附属高校	サッカー、ドイツ、通訳(山内直)
第238回		6.11.	筑波大学附属高校	総会後の意見交換会－NPO法人サロン2002には何が出来るか
第239回		7.16.	日本サッカー協会	ある女子サッカー選手の異文化体験－アメリカ、スウェーデン、ザンビア(野口亜弥★、中塚義実※)
第240回		8.29.	筑波大学附属高校	EURO2016とリオ五輪を振り返って(田村修一、徳田仁)
第241回		9.21.	筑波大学附属高校	日本初の女子A級レフェリー世界へ羽ばたく －リオデジャネイロ・オリンピック ラグビー競技報告(川崎桜子★、嶋崎雅規※)
第242回		10.21.	筑波大学附属高校	リオデジャネイロ五輪における柔道日本代表の情報サポート(川戸湧也)
第243回		11.17.	筑波大学附属高校	「ゆたかなくらし」作りに独自の方法で挑むスポーツドクター安藤がモンゴルで考えた事(安藤裕一)
第244回		12.17.	桐蔭会館	公開シンポジウム:日本サッカーのルーツを語ろう!(真田久★、賀川浩、牛木素吉郎、中塚義実※)
第245回	2017	1.24.	筑波大学附属高校	NPOサロンの事業を考える①-公開シンポジウム(中塚義実)
第246回		2.17.	筑波大学附属高校	FCバルセロナ・カンテラ出身の久保建英君をめぐるメディアの在り方と2015年2月始まったペーニャ(サポーターズ・クラブ)の正しい作り方に関して(小池正通)
第247回		3.29.	すみだ産業会館	NPOサロンの事業を考える②-U-18フットサル(中塚義実、本多克己)
(2017年度)				
第248回		4.18.	筑波大学附属高校	マーケティングの観点から見た2019年ラグビーワールドカップ組み合わせ試案(井上俊也)
第249回		5.25.	筑波大学附属高校	NPOサロンの事業を考える③-月例会(中塚義実)
第250回		6.10.	筑波大学附属高校	総会後の意見交換会－今後の展望について
第251回		7.24.	フットボール・サロン4-4-2	お宝映像上映会-いわゆる「ドーハの悲劇」と「ジョホールバルの歓喜」
第252回		8.27.	桐蔭会館	サロン2002 20周年記念シンポジウム: Before2002, After2020(仲澤真、宇都宮徹吉、鈴木崇正★、中塚義実)
第253回		9.15.	筑波大学附属高校	エストニアへ行ってきました！－第11回国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム報告会(藤原亮司★、中塚義実※)
第254回		10.20.	品川宿交流館	東海道品川宿FCのスポーツを通じたゆたかなくらしづくり、まちづくり－フットサルのチカラで、部活動の課題解決に取り組む(竹中茂雄、松村圭佑★)
第255回		11.24.	筑波大学附属高校	TOKYO2020オリンピック・パラリンピックと漫画の世界(小林勝海★、中塚義実※)
第256回		12.19.	筑波大学附属高校	運動部活動のいま(嶋崎雅規)
第257回	2018	1.12.	筑波大学附属高校	日本と中国のユース年代のスポーツ環境を考える－中国のサッカー指導者との情報交換会[SFT認定事業](中塚義実、Kenio Yao★、鈴木稔★)
第258回		2.20.	筑波大学附属高校	FC United of Manchester－イングランドのソシオ型スポーツクラブの紹介(張寿山)
第259回		3.20.	筑波大学附属高校	ドイツ生まれのボール教室「バルシューレ」の展開と可能性(福土唯男★、安藤裕一※)
(2018年度)				
第260回		4.26.	筑波大学附属高校	高校サッカー百年をめぐって－部活動のあり方を考える(中塚義実)
第261回		5.22.	筑波大学附属高校	ワールドカップのグループリーグからフェアネスを考える(井上俊也)
第262回		6.10.	筑波大学附属高校	総会後の意見交換会－公開シンポジウム2018を中心に
第263回		7.26.	セネガル料理屋 「Cafe Bar Blue Baobab」	セネガル料理を食べながら聞くFIFAワールドカップロシア大会報告 －ホットな現地の様子を生き生きと(徳田仁、守屋俊英、笹原勉)
第264回		8.27.	筑波大学附属高校	FIFAワールドカップ討論会－ロシア大会での事例をめぐって(中塚義実、小幡真一郎、松井完太郎★)
第265回		9.17.	桐蔭会館	公開シンポジウム:部活動を語ろう!(中澤篤史★、中小路徹★、嶋崎雅規、中塚義実)
第266回		10.24.	筑波大学附属高校	文京ラグビースクールにおける学び(齊藤守弘★、嶋崎雅規※)
第267回		11.17.	筑波大学附属高校	サッカーの戦術を構築する(北田典央)
第268回		12.21.	スポーツカフェ「フェイスサーナ」	お宝映像上映会兼忘年会－1970ブラジルvsペルーほか
第269回	2019	1.18.	桐蔭会館	ポッチャ体験会 & Non-Borderポッチャ交流会(2月11日)実行委員会(佐藤妙子★、岸卓巨※)
第270回		2.27.	筑波大学附属高校	サロン2002からのメッセージ① ユース年代にリーグ戦を！ －U-18フットサルリーグ・チャンピオンズカップをめぐって(本多克己、中塚義実)
第271回		3.27.	筑波大学附属高校	サロン2002からのメッセージ② オリンピズムを教育に！ －大河ドラマ「いだてん」の背景とスポーツ庁オリパラ事業の現状(仮題)(大林太朗★、中塚義実)
(2019年度)				
第272回		4月	「ダイニング翼」	コミュニティ型のサッカーグラウンドづくり(加藤遼也★、岸卓巨)
第273回		5.24.	筑波大学附属高校	ラグビーはよくわからない…という方のための、ラグビーワールドカップ日本大会の楽しみ方 (直江光信★、嶋崎雅規)
第274回		6.9.	筑波大学附属高校	総会後の意見交換会
第275回		7.14.	桐蔭会館	公開シンポジウム:ラグビーワールドカップ2019を語ろう!(薫田真広★、徳増浩司★、村田互★、嶋崎雅規)
第276回		8.23.	「ダイニング翼」	お宝映像上映会<ラグビー編>－伝説の「2015 日本 vs 南アフリカ」DVD 観戦
第277回		9.26.	筑波大学附属高校	シンガポールで感じたこと② －13年ぶり2度目の APYLS(アジア太平洋青少年リーダーズサミット)引率を通して(中塚義実)
第278回		10.24.	筑波大学附属高校	フランスのマコンに行ってきました －第12回国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム報告会(山田恵子★、中塚義実)

第279回		11.22.	桐蔭会館	第2回Non-Borderポッチャ交流会プレイベントーポッチャ講習会&第2回実行委員会
第280回		12.16.	文京ラグビースクール事務所	忘年会兼月例会:それぞれのラグビーワールドカップ2019ー思い出話とこれからの話
第281回	2020	1.28.	筑波大学附属高校	サッカーの脳挫傷の現況とGKヘッドギア標準ルール導入の可否(関秀忠)
中止		2.28.	文京ラグビースクール事務所	(新型コロナウイルスの影響で3月以降に延期)
中止		3月	未定	(新型コロナウイルスの影響で3月以降に延期)
(2020年度)				
第282回		4.28.	オンライン(ZOOM)	「新型コロナ」にどう向き合うか①ー学校・職場(と自宅)・スポーツイベント(中塚義実、笹原勉、徳田仁)
第283回		5.29.	オンライン(ZOOM)	「新型コロナ」にどう向き合うか②ー一部活動・市民イベント・障がい者の現場より(嶋崎雅規、本多克己、浅見明子)
第284回		6.20.	オンライン(ZOOM)	総会後の意見交換会
第285回		7.8.	オンライン(ZOOM)	「withコロナ」の時代に向けて①ー2020年度のU-18フットサルをめぐって(中塚義実、本多克己)
第286回		8.23.	オンライン(ZOOM)	「withコロナ」の時代に向けて②ースポーツは人々のライフラインとなれるか【アフリカ編】(岸卓巨)
第287回		9.25.	オンライン(ZOOM)	「withコロナ」の時代に向けて③ー地域スポーツクラブの現場より:ドクターの視点から(安藤裕一)
第288回		10.29.	オンライン(ZOOM)	「withコロナ」の時代に向けて④ー日本におけるスポーツボランティアの経緯と今後(小松章一)
第289回		11.19.	オンライン(ZOOM)	「withコロナ」の時代に向けて⑤ー運動部活動における「大会」の意味・意義を考える(蔵森紀昭★、嶋崎雅規、中塚義実)
第290回		12.13. AM	オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム「With/Afterコロナ」の時代に向けてーコロナ禍でみえた“ゆたかなくらし”の新しいすがた 第1部「イベント」を中心に(宇都宮徹吉、土谷享、本多克己、中塚義実)
		12.13. PM	オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム「With/Afterコロナ」の時代に向けてーコロナ禍でみえた“ゆたかなくらし”の新しいすがた 第2部「新しい日常」を中心に(田中理恵、春日大樹、岸卓巨、中塚義実)
第291回	2021	1.28.	オンライン(ZOOM)	第5回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップを振り返って(中塚義実、本多克己、田島璃子)
第292回		2.18.	オンライン(ZOOM)	(限)サロン2002のこれからを考えるー情報発信プロジェクトからの問題提起(徳田仁ほか)
第293回		3.13.	オンライン(ZOOM)	東京都におけるU-18フットサルの20年ー2001～2020のあゆみとこれから(中塚義実ほか)
(2021年度)				
第294回		4.16.	オンライン(ZOOM)	(限)サロン2002のこれからを考える②ー理事長からの問題提起(中塚義実ほか)
第295回		5.13.	オンライン(ZOOM)	どうなる、東京オリンピック・パラリンピックー2020～21のスポーツイベントの実施状況から考える(嶋崎雅規、徳田仁)
第296回		6.19.	オンライン(ZOOM)	(限)総会後の意見交換会
第297回		7.16.	オンライン(ZOOM)	暑熱下でのスポーツ活動2.0(安松幹展)
第298回		8.23.	オンライン(ZOOM)	日本初の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」を語ろう!(岡島喜久子★、中塚義実※)
第299回		9.13.	オンライン(ZOOM)	スポーツにおけるマウスガードの効用(高橋昌嗣★、関秀忠※)
第300回		10.23.	オンライン(ZOOM)	サロンファミリーが感じたtokyo2020ー月例サロン300回記念(川戸雄也、赤城翼★、岸卓巨、小松章一、梅澤佳子、小池靖)
第301回		11.6.	オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム①「安心・安全なサッカーのためにー育成年代でのヘディング習得のためのガイドラインを中心に」(中山雅雄★、石堂典秀★、相浦正俊★、関秀忠※)
第302回		12.11.	オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム②「JFA100周年:2021年の総括と展望ーTOKYO 2020、WEリーグ、そしてコロナ後へ」(賀川浩、加藤寛★、川島健司★、中塚義実)
第303回	2022	1.26.	オンライン(ZOOM)	試合中におけるレフェリーの安全管理(小幡真一郎、谷口浩★、嶋崎雅規※)
第304回		2.10.	オンライン(ZOOM)	フットサルフェスタ25年目の挑戦ーAfrica Challengeとのコラボレーション(本多克己、Africa Challengeプロジェクトメンバー、岸卓巨※)
第305回		3.14.	オンライン(ZOOM)	(限)サロン2002の「これから」を考える③ー2022年度以降の持続可能なすがたを求めて(仮題)
(2022年度)				
第306回		4.19.	オンライン(ZOOM)	ユースリーグのこれからを考える①ー「DUOリーグのトロフィーがない!」プロジェクトを中心に(中塚義実、土谷享、佐藤いちろう、嶋野雅春★)
第307回		5.10.	オンライン(ZOOM)	ユースリーグのこれからを考える②ーU-18フットサルリーグを中心に(中塚義実、本多克己ほか)
第308回		6.18.	オンライン(ZOOM)	(限)総会後の意見交換会ーサロン2002の事業と組織を考える
第309回		7.19.	オンライン(ZOOM)	歯磨き感覚でスポーツは可能か?(第2弾)ー18年前の続きの話(土谷享、井関信雄★)
第310回		8.26.	オンライン(ZOOM)	岐阜県発 陸上クラブが提供する新しい価値ー一部活動地域移行・競技横断・ITシステム活用のコーチング(中宗一郎、春日大樹)
第311回		9.30.	オンライン(ZOOM)	2022 世界のサッカーーオリンピックとワールドカップの間で(井上俊也)
第312回		10.19.	オンライン(ZOOM)	(限)公開シンポジウムの“成功”のためにーテーマ設定・情報発信・成果の共有
第313回		11.13.	千曲市総合観光会館およびオンライン(ZOOM)	公開シンポジウム①「温泉街をスポーツで盛り上げよう!ーU-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ オープニングサロン@千曲」(岡田昭雄★、本多克己、福角有紘★、中塚義実)
第314回		12.15.	オンライン(ZOOM)	(限)ちゃんと遊ぶための仲間同士の心構えーサロン 2002 行動規範をつくろう!
第315回	2023	1.15.	デザイン・クリエイティブセンター神戸(KUITO)およびオンライン(ZOOM)	公開シンポジウム②「もっと遊ぼう!ースポーツとアートにできること」(三好 天都★、椎名 一平★、土谷享、中塚義実)
第316回		2.22.	オンライン(ZOOM)	第13回国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム報告ーコロナ禍でのオリンピック教育(内藤智★、中塚義実ほか)
第317回		3.13.	オンライン(ZOOM)	みるスポーツとしてのFIFAワールドカップーカタル大会を振り返って(徳田仁、田中俊也、守屋俊秀、笹原勉、中塚義実ほか)
★は月例サロンの時点でサロンファミリー以外の方 ※はコーディネーター (限)は「限定サロン」(サロン2002ファミリー限定)。そのほかは「公開サロン」				

サロン2002公開シンポジウム一覧(2001～2022)

2023.2.9.

年度	期日	会場	テーマ(演者)
2001	2001.7.22.	横浜国際総合競技場	コンフェデレーションズカップ総括シンポジウム 長岡茂、竹原典子、小島裕範
2002	2002.8.3.	東京体育館	ワールドカップ総括シンポジウムⅠー「ささえる物語」を中心に 長岡茂、村林裕、宮城島清也
	2002.8.10.	神戸ファッション美術館	ワールドカップ総括シンポジウムⅡー「観戦と交流の物語」を中心に 賀川浩、スー木下、橋本潤子、宇都宮徹也
2003	2003.8.2.	東京体育館	公開シンポジウム2003「地域で育てるこれからのスポーツ環境」 中塚義実、宇都宮徹也、山下則之
2004	2004.11.27.	立教大学	公開シンポジウム2004「totoを活かそう！ー地域スポーツ振興のために」 福西達男、高橋正紀、徳田仁、両角晶仁
2005	2005.11.12.	味の素スタジアム	公開シンポジウム2005「クラマーさんありがとう！」 D.クラマー、賀川浩、両角晶仁、大橋二郎、中塚義実
2006	2007.3.24.	日産スタジアム内	公開シンポジウム2006「2006年 ドイツで感じたこと」 池田誠剛、庄司悟、徳田仁
2007	2007.12.15.	青学会館アイビーホール	公開シンポジウム2007「サッカー観戦を楽しもう！ースタジアム編」 仲澤眞、徳田仁、宮明透
2008	2009.1.31.	日本青年館・会議室	公開シンポジウム2008「地域からみたJリーグ百年構想」 宇都宮徹也、宮明透、守屋実
	2009.3.21.	那智勝浦町体育文化会館	日本サッカー史シンポジウム「中村覚之助と日本サッカーの夜明け」 牛木素吉郎、森岡理右、山本殖生、中塚義実
2009	2010.2.6.	オリンピック記念 青少年総合センター	東京シンポジウム「日本サッカーの始祖 熊野の中村覚之助」 中村統太郎、真田久、加藤弘、中塚義実
	2010.3.6.	青学会館アイビーホール	公開シンポジウム2009「2019ラグビー・ワールドカップ日本大会を語ろう！」 岩淵健輔、直江光信、島田佳代子
2010	2011.3.5.	堺市立ナショナルトレセン	公開シンポジウム2010＝デンソーシンポジウム、「育成期のサッカーを語ろう！」 上田亮三郎、松田保、黒田和生、関塚隆
2011	2012.3.4.	味の素スタジアム	公開シンポジウム2011「『高校サッカー90年史』を語ろう！」 北原由、牛木素吉郎、賀川浩、中塚義実
2012	2013.3.23.	臼杵市民会館小ホール	サロンin臼杵「竹腰重丸を語る」 浅見俊雄、牛木素吉郎、吉田稔、中塚義実
	2013.3.30.	テバ・オーシャンアリーナ	公開シンポジウム2012「U-18フットサルを語ろう！」 松崎康弘、大立目佳久、岩本芳久、中塚義実
2013	2014.3.30.	筑波大学東京キャンパス	公開シンポジウム2013「スポーツクラブの法人化を語ろう！」 賀川浩、黒崎祐一、水上博司、中塚義実
2014	サロン2002のNPO法人化準備のため公開シンポジウム開催せず		
2015	2015.7.4.	筑波大学東京キャンパス	公開シンポジウム2015「スポーツで“ゆたかなくらし”を！」 村松邦子、山口拓、小林洋平、岸卓巨
2016	2016.12.17.	桐陰会館	公開シンポジウム2016「日本サッカーのルーツを語ろう！」 ー東京高等師範学校の足跡を中心に」真田久、賀川浩、牛木素吉郎、中塚義実
2017	2017.8.27.	桐陰会館	20周年記念シンポジウム「Before2002、After2020 ースポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を目指して」 仲澤眞、宇都宮徹也、鈴木崇正、中塚義実
2018	2018.9.17.	桐陰会館	公開シンポジウム2018「部活動を語ろう！ー高校サッカー百年を機に」 中澤篤史、中小路徹、嶋崎雅規、中塚義実
2019	2019.7.14.	桐陰会館	公開シンポジウム2019「ラグビーワールドカップ2019を語ろう！」 ー4年に一度じゃない、一生に一度だ！」薫田真広★、徳増浩司★、村田互★、嶋崎雅規
2020	2020.12.13.	第1部:長野県千曲市ほか オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム2020「With/Afterコロナ」の時代に向けて ーコロナ禍でみえた“ゆたかなくらし”の新しいすがた 第1部「イベント」を中心に 宇都宮徹也、土谷享、本多克己、中塚義実
		第2部:東京都文京区ほか オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム2020「With/Afterコロナ」の時代に向けて ーコロナ禍でみえた“ゆたかなくらし”の新しいすがた 第2部「新しい日常」を中心に 田中理恵、春日大樹、岸卓巨、中塚義実

2021	2021.11.3.	オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム2021-1「安心・安全なサッカーを目指して －育成年代でのヘディング習得のためのガイドラインを中心に」 中山雅雄★、石堂典秀★、相山正俊★、関秀忠
	2021.12.11.	オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム2021-2「JFA100周年 2021年の総括と展望 －TOKYO 2020、WEリーグ、そしてコロナ後へ」 賀川浩、加藤寛★、川島健司★、中塚義実
2022	2022.11.13.	千曲市総合観光会館および オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム2022-1「温泉街をスポーツで盛り上げよう！ －U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ オープニングサロン@千曲」 岡田昭雄★、本多克己、福角有紘★、中塚義実
	2023.1.15.	デザイン・クリエイティブ センター神戸(KIITO)および オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム2022-2「もっと遊ぼう！ースポーツとアートにできること」 三好 天都★、椎名 一平★、土谷享、中塚義実

注1) 「日本サッカー史シンポジウム」は、筑波大学蹴球部同窓会茗友サッカークラブと日本サッカー史研究会が主催し、サロン2002が協力。
「東京シンポジウム」は、熊野三山協議会主催、サロン2002は共催した。

注2) 「デンソーシンポジウム(2010公開シンポジウム)」は、株式会社デンソーの特別協賛のもと、(財)日本サッカー協会、全日本大学サッカー連盟、デンソーカップ実行委員会とサロン2002が主催した。

注3) 「竹腰重丸を語る」は、サロン2002が主催する「サロンin臼杵」として開催。臼杵市、臼杵市体育協会、臼杵市教育委員会、日本サッカー史研究会、一般社団法人東大LBC会、ピバサッカー研究会、臼杵市サッカー協会、社団法人大分県サッカー協会の後援、また地元の多くの企業の協賛を得て開催した。





SALON2002

サロン 2002 ファミリーの約束 (2022 年 2 月 22 日)

◆サロン 2002 ファミリーとは

スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を“志”に掲げる、特定非営利活動法人サロン 2002 (NPO サロン 2002) が運営するネットワークです。「サロンファミリー」と呼ぶこともあります。

“志”に賛同する方であればどなたでもファミリーの一員になることができます。

◆サロン 2002 ファミリーになるには…

1) 個人情報の提供

連絡を取るための以下の情報を事務局にご提供ください。

・氏名 ・Eメールアドレス ・住所 注) 電話番号は任意です。

2) 会費の納入

年会費 4,000 円 (学生は 2,000 円) をご入金ください。

◆サロン 2002 ファミリーになれば…

1) “同志”とつながることができます

年齢、性別、国籍、身分や立場など、あらゆる壁を超え、“志”に賛同する方々が集まるのがサロン 2002 ファミリーです。“同志”とのつながりは、このネットワークの最大の財産です。

互いをリスペクトしながら、このネットワークを活かしてください。

2) 情報が得られます

- ・ 月例サロンの情報などが、「メールニュース」として送信されます。
- ・ 公式メーリングリストに登録され、月例サロンの情報などが「サロン 2002 通信」として定期的送信されます。“同志”であるサロン 2002 ファミリーへの情報発信も可能です。
- ・ サロン 2002 ファミリー限定の Slack に登録することができます。Slack 内で互いに自己紹介し、トピックごとに意見交換をすることができます。

3) NPO サロン 2002 主催事業の参加費が優遇されます

- ・ 月例サロンは参加費 1,000 円 (オンラインの場合 500 円) 必要ですが、サロン 2002 ファミリーは無料です。
- ・ 公開シンポジウム等、NPO サロン 2002 が主催する事業における参加費が優遇されます。

4) NPO サロン 2002 主催事業に関わることができます

NPO サロン 2002 では“志”の実現に向けて様々な事業に取り組んでいます。それらの事業にスタッフとして関わることができます。

◆サロン 2002 ファミリーを継続する／退会するには…

サロン 2002 ファミリーは年度単位のメンバーシップ制です。年度の途中で入会される場合、年度末まで有効です (1 ~ 3 月のご入会は翌年度末まで有効です)。年度ごとに継続・退会の意思確認をさせていただきます。継続される場合は、3 月末日までに翌年度分の会費をご入金ください。退会される場合はその旨を事務局にご連絡ください。

サロン 2002 ファミリーはゆるやかなネットワーク組織です。“志”の実現と“組織”の充実のために、ファミリーには、サロン 2002 に対して、また社会に対して“Give and Take”の姿勢を求めます。

参考：サロン 2002 の“歴史”“志”“会員”について

サロン 2002 の活動は 1997 年度に始まりました。2000 年 4 月 1 日の設立宣言には“歴史”“志”“会員”が記され、いまでもサロン 2002 の根底にある思想として生き続けています。

2014 年 5 月 31 日の設立総会で特定非営利活動法人サロン 2002 が生まれました。前文には「スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”に貢献できるよう、“志”に賛同する仲間のネットワークを広げ、深めていくとともに、それを基盤としてさまざまな社会問題に対応したスポーツ関連事業の主体として積極的に取り組んでいけるよう」設立されたことが明記されています。

同法人が運営するネットワークが「サロン 2002 ファミリー」です。“志”に賛同し、“Give and Take”の気持ちを持つ人なら、いつでも、だれでも入会できます。

NPO サロン 2002 の運営に携わる、本法人の「正会員」、および「賛助団体」も募集しています。

定款から当該箇所を引用します。

サロン 2002 設立宣言 (2000 年 4 月 1 日)

我々は、以下に「サロン 2002 の“歴史”」、「サロン 2002 の“志”」及び「サロン 2002 の“会員”」を述べることににより、ここにあらためてサロン 2002 の設立を宣言する。

【サロン 2002 の“歴史”】

サロン 2002 は、社会学、心理学等の専門的立場からサッカーの分析・研究・報告に従事していた「社・心グループ」(財団法人日本サッカー協会科学研究委員会の研究グループの一つで、1980 年代後半からこの名称で活動)を前身とし、1997 年からは研究者という枠にとらわれない、幅広い人材によって構成されるゆるやかな情報交流グループ「サロン 2002」として活動を行ってきた。

【サロン 2002 の“志”】

サロン 2002 は、サッカー・スポーツを通して 21 世紀の“ゆたかなくらしづくり”を目指すことを“志”とする。年齢、性別、国籍、職業、専門分野、生活地域などを越えた幅広いネットワークを築き上げ、全国各地にサロン 2002 の“志”の輪を広げ、大きなムーブメントとなることを目指す。

サロン 2002 の“志”を実現する上で、2002 年 FIFA ワールドカップ韓国/日本大会は大きな節目であると認識する。国内外の様々な人々と協力しながら、この世界的なイベントの“成功”に貢献するとともに、同大会後の“ゆたかなくらしづくり”のためにできることを考え、行動する。

【サロン 2002 の“会員”】

サロン 2002 は、前項の“志”を同じくする人たちのゆるやかなネットワークである。

サロン 2002 の“志”に賛同した個人であれば、誰でも、“会員”となることができる。ただし会員は、サロン 2002 からの“Take”を求めるだけでなく、サロン 2002 に対して、また社会に対して何が“Give”できるかを常に考え、“Give and Take”の姿勢でいるということが前提である。

サロン 2002 は、会員に対して短期的な成果は求めない。長い目で見た“Give and Take”の関係が成り立っていればよい。即座のアウトプットが困難であっても、いずれ何らかの形で“Give”を考えている人なら“会員”となることができる。

特定非営利活動法人サロン 2002 定款「前文」

(2014 年 5 月 31 日)

日本のスポーツは、学校を中心に世界に類を見ない発展を遂げてきた。しかし、その反面、教育的

意義のみが過度に強調され、勝利至上主義や特待生問題、あるいは「体罰」問題など、閉鎖社会ゆえの諸問題や組織疲労が起きている。

一方、社会に目を向けると、東日本大震災からの復興、ライフワークバランスの充実、社会的弱者の支援など、取り組まねばならない課題が山積している。

本来スポーツは「遊び」であり、「楽しみ」や「気晴らし」を意味するものである。私たちは、スポーツには、さまざまな社会問題を解決する潜在的な力があると信じている。また、社会問題と接することによってスポーツの持つ可能性が広がり、文化としてのスポーツが人々のくらしの中に根付くようになってほしいと願っている。

私たちは、2002 年 FIFA ワールドカップ韓国/日本大会を契機とし、サッカー・スポーツを通じた 21 世紀の“ゆたかなくらしづくり”の実現を“志”として、スポーツ文化研究会「サロン 2002」を設立した。年齢、性別、国籍、職業、専門分野、生活地域などを越え、全国各地にサロン 2002 の“志”の輪を広げ、“志”に賛同した人々が、その実現に向けて自発的に行動することにより、社会を変える大きなムーブメントとなることを企図してきた。

スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”に貢献できるよう、“志”に賛同する仲間のネットワークを広げ、深めていくとともに、それを基盤としてさまざまな社会問題に対応したスポーツ関連事業の主体として積極的に取り組んでいけるよう、特定非営利活動法人サロン 2002 を新たに設立する。

特定非営利活動法人サロン 2002 定款「第 2 章 会員」

(種別)

第 6 条 この法人の会員は、次の 2 種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法(以下「法」という。)上の社員とする。

(1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人。

(2) 賛助団体 この法人の目的に賛同し賛助するために入会した団体。

(入会)

第 7 条 会員はこの法人の定款前文及び目的に賛同し、主体的な役割を果たそうという意思を有するものとする。

2 会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとする。

3 理事長は、前項の申し込みがあったとき、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。

4 理事長は、第 2 項のものを入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(会費)

第 8 条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(会員の資格の喪失)

第 9 条 会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

(1) 退会届の提出をしたとき。

(2) 本人が死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は会員である団体が消滅したとき。

(3) 継続して 1 年以上会費を滞納したとき。

(4) 除名されたとき。

(退会)

第 10 条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第 11 条 会員が次の各号の一に該当する場合には、総会の議決により、これを除名することができる。

(1) この定款に違反したとき。

(2) この法人の名譽を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

2 前項の規定により会員を除名しようとする場合は、議決の前に当該会員に弁明の機会を与えなければならない。